

## 「愛整丸」新たな船出

4月1日、“公益社団法人”愛知県柔道整復師会が誕生した。新造船「愛整丸」は、佐久間船長の指揮のもと、役員や部員、支部長ら多くの乗組員がそれぞれの役割を担って新たな船出のときを迎えた。850余名の会員も単なる乗客ではなく、決して穏やかでない海原を突き進む推進力である。公益事業の推進と業界の発展のためにますます団結力が必要となる。



### ご支援ご協力に感謝 会長 佐久間稔晴

去る平成24年3月23日愛知県知事より認定証が発行され、4月1日には法務局に新公益法人として登記が完了いたしました。認定申請に当たり、身を削るような思いの中で絶大なご支援とご協力を賜った会員の皆様には深く感謝申し上げます。

平成20年12月1日、新公益法人3法が施行され、本会は5年以内(平成25年11月30日)の公益法人取得か、一般法人に移行か、あるいは解散かの選択を迫られました。当時の役員会で、諸先輩がご苦勞を重ね創り上げてきた素晴らしい柔道整復業界を継承しさらに飛躍させるためには公益の認定を受けていく責務があると判断し、平成22年3月14日の定時(予算)総会で会員の皆様にもご信託を頂き認定に向けて作業を進めてまいりました。

県民の健康福祉の向上を公益事業の基本的な柱とし、同じ志を持つ県内すべての柔道整復師とともに歩むことを基本理念に掲げました。経理面では全事業の50パーセント以上を公益目的事業予算とすることに腐心しました。組織構成では執行部の選任とその責任範囲などについて大幅な変更が必要となり、経理処理とともに理事会で幾度となく審議いたしました。会員の皆様にも理事を通じ情報発信させていただき、それぞれに改革を旗印として議論を重ねていただいたところです。

新しい組織は発進いたしました。支部長会や各業務の担当者会などを開催させていただく中で、新天地を築き上げていこうという関係者の意気込みを感じております。どんどん変化していく時代にあって業界をリードしていくのは我々であります。今後予想もしなかった問題も浮上するかもしれませんが、新公益法人の取得が正しい道であったと確信できるよう皆様とともに手を携えて日頃の業務に邁進いたしましょう。

最後にお呼び掛けいたします。開業を目指している柔道整復師の皆さん、そして個人で行政と契約をして開業をされている皆さん、公益法人として認められた愛知県柔道整復師会に仲間入りし切磋琢磨していきませんか。歓迎いたします。



第21回愛整杯争奪少年少女柔道大会

4月15日(日)午前9時30分より、第21回愛整杯争奪少年少女柔道大会が県武道館で開催された。本会役員・柔道部員はじめ、審判員53名(うち県柔道連盟派遣9名)や愛柔整アス

レチックトレーナーズ協会本会会員5名、名古屋工業高校柔道部学生36名ら、総勢115名の競技役員が運営するなか、団体の部60チーム、個人の部1369人の県下の道場に通う小中学生が参加し真剣に戦った。

尾崎美玲選手(大石道場)の力強い選手宣誓と健康やわら体操が行われたあと、2会場に分かれて午前中の試合が始まった。大道場では団体戦(小3~小6)が行われ、第3競技場では中学個人戦が準決勝まで進められた。団体の部では、大石道場が2年連続の優勝を飾った。

午後は大道場で小学個人戦と中学個人の決勝が行われた。中学生は身体も大きく、大人と変わらない大技が決まる場面も見られ、場内から大きな歓声や拍手も送られていた。決勝戦終了後は、秋の日整柔道大会の出場選手の選考試合も行われた。

予定より遅れたが、午後6時過ぎ、本会が公益社団に移行して初めての最大の行事は大会役員の多大な働きで大過なく終了した。

### (^.^) 翔・新入会員 (^.^)

氏名	生年月日	地区	出身校	段位	趣味
石原裕次郎	S61.8.28	笠寺	名古屋福祉	初段	音楽鑑賞
飯嶋 了三	S24.6.6	岡崎	日本健康医療	-	神道一心流剣術
小池 翼	S56.12.16	中村	米田柔整	初段	ドライブ
望月 昇一	S51.12.12	豊橋	浜松医療	初段	サーフィン

**組織構成 (職務分担)**

副会長 森川伸治

<b>保険部</b> 堀 孝利 部員 山口雅彦 早川岩雄 療養費適正調査委員会	<b>学術部</b> 筧 芳幸 部員 佐野 恵 大口明良 学術委員会	<b>広報部</b> 長谷川貴一 部員 櫻木憲一 横井達典 I-T委員会	<b>介護部</b> 早川信義 部員 加藤博史 倉橋健司 機能訓練研修委員会
--	---	---	---

会長 佐久間稔晴

副会長 柳田松三

<b>総務部</b> 石田健太郎 部員 佐藤鉦樹 山本正大 組織強化委員会	<b>経理部</b> 藤川和秀 部員 松田吉弘 河合修宏	<b>事業部</b> 小林弘治 部員 河合一弘 井上哲三 災害対策委員会	<b>柔道部</b> 春日井和幸 部員 山田英幸 夫馬喜久治
--	------------------------------------	---	--------------------------------------

監事 内田光昭 伊藤勇造



支部担当	総務	経理	保険	学術	広報	事業	柔道	介護
鶴舞	金田圭一	菅沼英明	山口雅彦	赤松徳浩	山本 篤	松浦洋雅	石田雅明	柴田丈久
笠寺	山本 満	加藤嘉範	青山貞男	井本尚光	矢野康治	伊達 満	青木保宏	倉橋健司
大曾根	船橋裕計	名川 洋	濱 巧	大口明良	横井達典	押谷昌之	加藤彰一	平岩治郎
中村	田中俊彦	田中俊彦	田中俊彦	近藤寿幸	半谷和男	田中俊彦	野村時丈	長瀬理次
熱田	早瀬史朗	河合修宏	佐藤鉦樹	林 厚宏	本田富彦	小林 茂	若松久司	水谷 浩
一宮	野田龍一	寺倉 稔	浅野加寿彦	櫻木紀美雄	櫻木憲一	木村雅克	夫馬喜久治	古賀 一
半田	神谷徳太郎	松田吉弘	柳 敏雄	山田直樹	室谷 勉	石川 真	月野義明	関 守
刈谷	今野雅晴	安原成浩	早川岩雄	吉田実機	神谷 昇	星野彰二	角谷竜彦	竹内健二
岡崎	山本正大	新實正弘	永田重雄	石川英一郎	菅沼秀生	黒瀬広幸	中川孝幸	野村義昭
豊橋	河合一弘	河合一弘	永井宏和	林 秀樹	齋藤禎久	夏目隆義	河合敏次	田口俊三

### 【団体の部】

▷ 優勝 大石道場 ▷ 準優勝 羽田野道場  
▷ 3位 東海少年柔道教室・小牧柔道会味岡道場

### 【個人の部優勝】

男子 ▷ 小3 入来巨助(愛西柔道会) ▷ 小4 中東龍人(小牧柔道会小牧) ▷ 小5 山田光一(小牧柔道会味岡) ▷ 小6 大石 由(鈴木道場) ▷ 中1 藤山大輔(東海少年柔道教室) ▷ 中2 森部篤知(大石道場) ▷ 中3 前濱忠大(大石道場)  
女子 ▷ 小3 岩間華蓮(稲沢柔道会) ▷ 小4 萩尾陽奈(羽田野道場) ▷ 小5 小山遥佳(安城柔道クラブ) ▷ 小6 山市美穂(羽田野道場) ▷ 中1 小妻朋華(ジェイテクト柔道クラブ) ▷ 中2 岡田 蛍(大石道場) ▷ 中3 鍋倉那美(大石道場)

### 【大会会長賞】

▷ 団体の部 矢野太尊(大石道場) ▷ 個人の部男子 藤山大輔(東海少年柔道教室) ▷ 個人の部女子 岩間華蓮(稲沢柔道会)

### 【敢闘賞】

▷ 尾崎美玲(大石道場)・山市美穂(羽田野道場)・安立祐真(東海少年柔道教室)・隈本淳一(小牧柔道会味岡)

\*日整大会出場選手\*  
▷ 小4 中東龍人(小牧柔道会小牧) ▷ 小5 片山 瀧(東海少年柔道教室)・山田光一(小牧柔道会味岡) ▷ 小6 山市美穂(羽田野道場)・大石 由(鈴木道場)

### 大会結果

